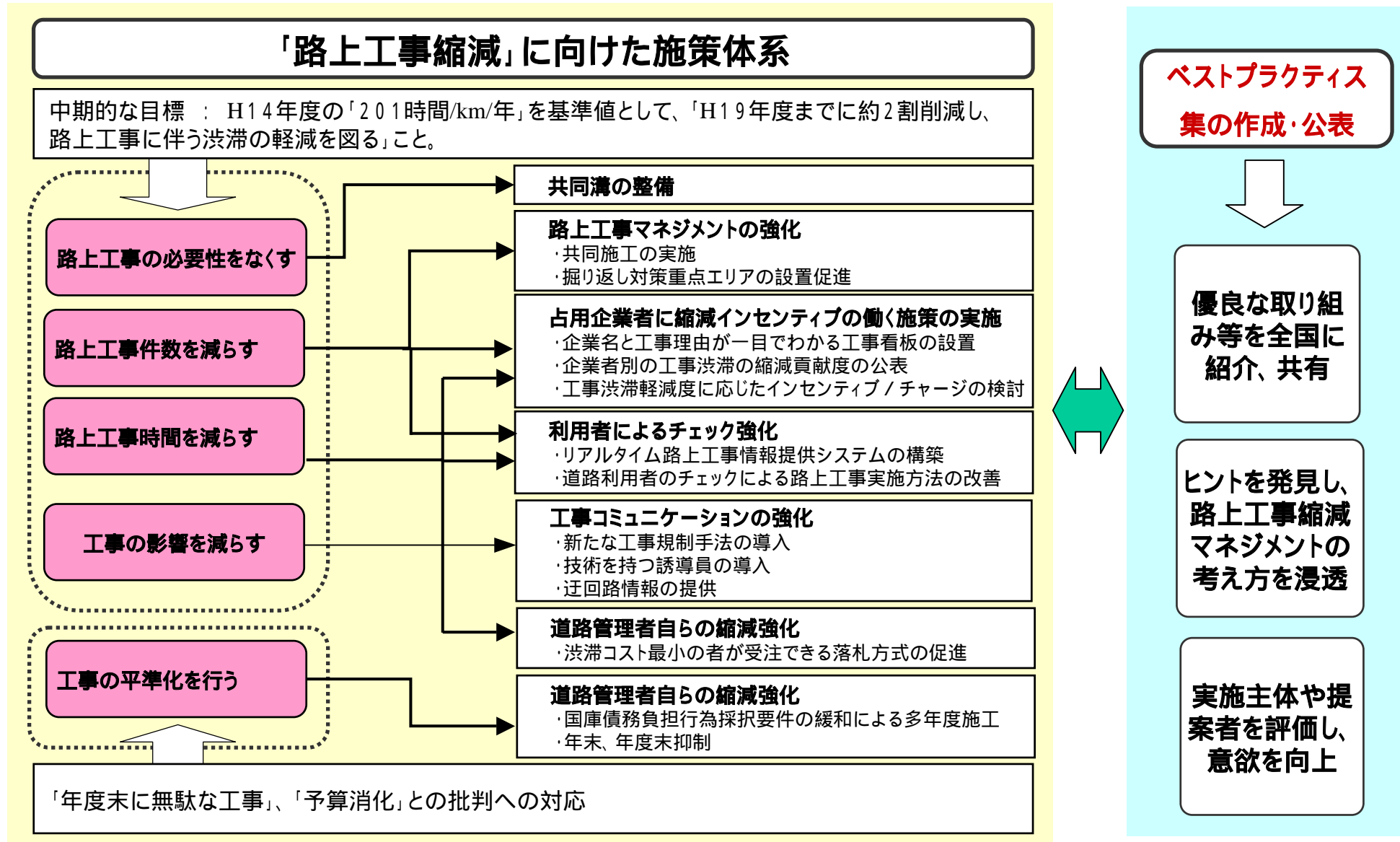


2. ベストプラクティス(好事例)について < 代表事例 >

平成17年3月15日

第6回 ユーザーの視点に立った道路工事マネジメントの改善委員会

1. 路上工事縮減に向けた施策体系とベストプラクティス



2. ベストプラクティス(代表事例)

区分	取り組み	実施者
工夫	(1)銀座ワンナイトリフレッシュ工事	東京国道事務所
評価	(2)路上工事抑制カレンダーの作成	秋田河川国道事務所
気づき	(3) <small>ごとび</small> 五十日における路上工事中止の取り組み	大阪市内路上工事縮減対策協議会
	(4)総合評価落札方式により工事規制日数を短縮	北陸地方整備局
連携	(5)路上工事縮減専門部会を設置し、不満の多い幹線道路の路上工事の削減	九州幹線道路協議会
	(6)道路工事モニターとの協働により工事広報を改善	名古屋国道事務所・名古屋市
その他	(7)新工法の採用による路上工事の縮減	名古屋市・NTT西日本名古屋支店・NTTインフラネット東海支店

注)「問合せ番号」、「不人気投票」等の取り組みは別掲(資料-1)

(1) 銀座ワンナイトリフレッシュ工事

【関東地方整備局 東京国道事務所】

国道15号銀座通りにおいて、集中工事を行い、一晩(15時間)で舗装修繕工事を完了。

< 集中工事で大幅な工期短縮 >

- ・ 工事可能時間帯が土、日に限定
- ・ 全体工事に要する期間は2ヶ月以上

集中工事の実施

- ・ 1晩(15時間)で工事を完了

< 周辺道路の渋滞対策 >

- ・ 沿道周辺へのパンフレット配布(3万部)
- ・ 新聞(6紙)やラジオ・TV等メディアによるPR
- ・ 横断幕(21箇所)や、道路情報板による広報
- ・ 警視庁と連携し信号現示を変更(2交差点)
- ・ 関係機関(都・区・銀座通連合会等)への協力要請



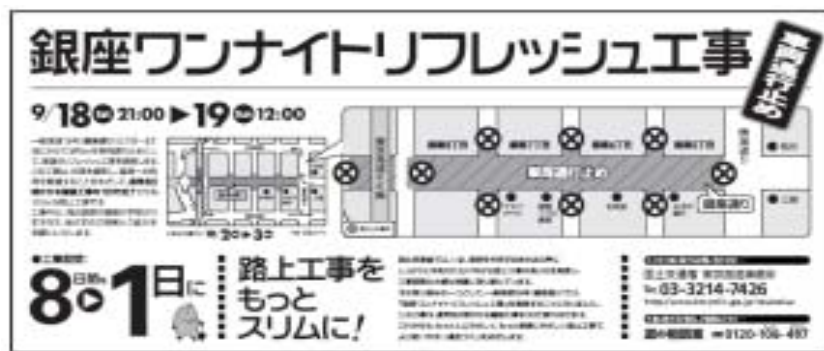
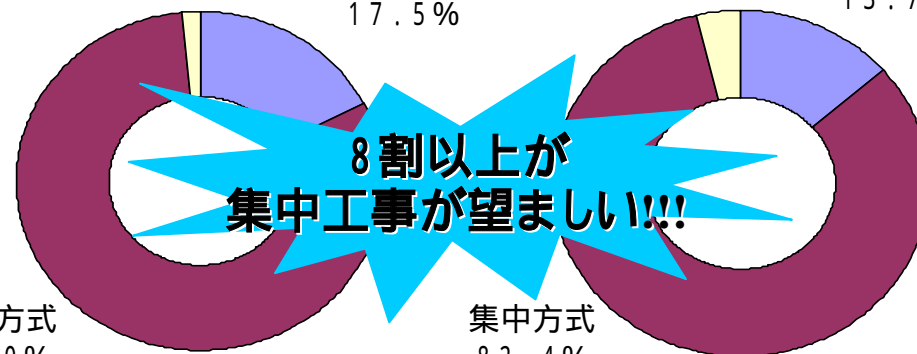
< 実施後の沿道アンケート結果 >

【周辺店舗】

無回答 1.5%
通常方式 17.5%集中方式 81.0%

【タクシードライバー】

無回答 3.9%
通常方式 13.7%集中方式 82.4%



(2) 路上工事抑制カレンダーの作成

東北地方整備局 秋田河川国道事務所

年間交通量を日単位で分析し、カレンダー方式により路上工事抑制計画を立案。
工事規制による待ち時間を約6,000時間削減。



武家屋敷の町並みに訪れる観光客

県庁都市間を結び、みちのくの小京都と呼ばれる観光地「角館」を抱える国道46号は、頻繁に交通混雑が発生

工事規制の伴う工事は、更なる渋滞を助長

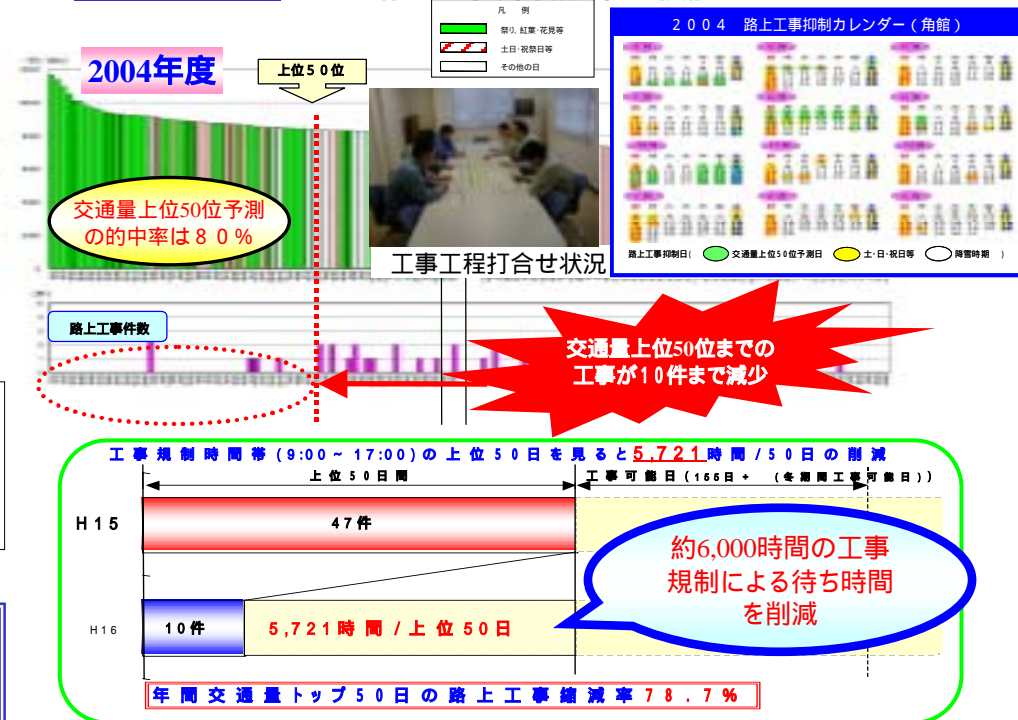
必要な道路補修工事を実施するためには、計画的にマネジメントする必要

既存データからの分析・方法検討 (Plan)

試行的に抑制計画を実行 (Do)

結果から評価分析 マネジメント計画変更 (See)

カレンダー方式による路上工事抑制効果の検証



今後の検討課題

【10月以降の試行で学んだこと】<発注時期・工期設定が重要>

適切な工期設定でなかったため工事可能日数にバランスを欠き、工事工程に負担
工事抑制日に夜間工事をせざるを得なかった工事も1工事(5日間)発生

【発注段階での配慮】

H17本格導入に向け適切な時期での発注や適切な工期の設定を行う

【現場での対応】

路上工事抑制カレンダーを試行的に取り組み(発注条件)
占用工事(NTT・電力等)への取り組みの要請

ことび
(3) 五十日における路上工事中止の取り組み(速報)

【大阪市内路上工事縮減対策協議会】

五十日において、昼間の路上工事を原則中止した結果、旅行速度が2割向上することを確認。

<概要>

交通渋滞が増大する「五十日(取引先間の支払い日である、月のうち『五』、『十』がつく日)」の昼間に行われる路上工事を原則中止することにより、渋滞緩和への効果を計測。

期間: 平成16年10月~平成16年12月

箇所:

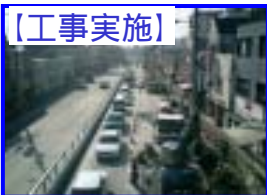
国道1号 大阪市旭区今市~城東区関目地先

国道25号 大阪市東住吉区桑津~阿倍野区天王寺北地先

計測内容:

- ・工事件数
- ・旅行速度
- ・交通量
- ・利用者アンケート

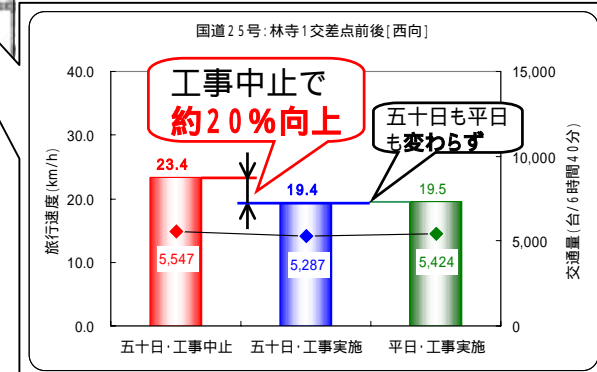
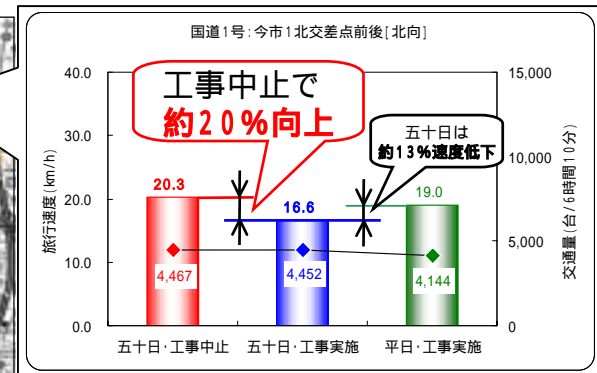
~ 今市1北交差点部 ~



NHK [かんさいニュース1番]
“渋滞緩和
五・十日に道路工事をやめると?”
肖像権の関係で
掲載できません
(H16.11.30放送)

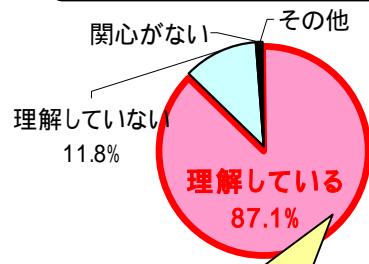
ことび
五十日の工事(有り・無し)の交通状況を比較

今回の調査箇所では、旅行速度は約2割向上!

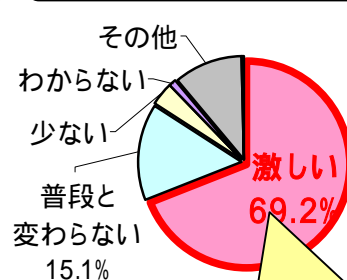


利用者の意識が明らかに!! (H16アンケート結果より)

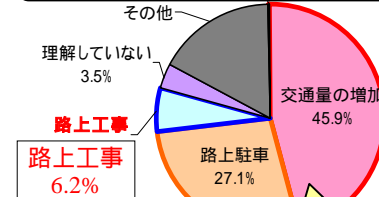
五十日の認知度



五十日の渋滞は?



“五十日の渋滞原因?”



五十日の渋滞原因として、「交通量増加」と「路上駐車」が明らかに!!

「五十日の昼間工事中止」は以下の点を踏まえ、今後関係機関と協議・検討を進める。

- ・昼間工事中止により、渋滞緩和効果あり。
- ・「五十日渋滞」約7割が“激しい”との回答。
- ・阪神高速道路公団と一体となった検討が必要
- ・「工事中止」は、工事の継続性、工事期間が長くなることにより住民意識が悪化。

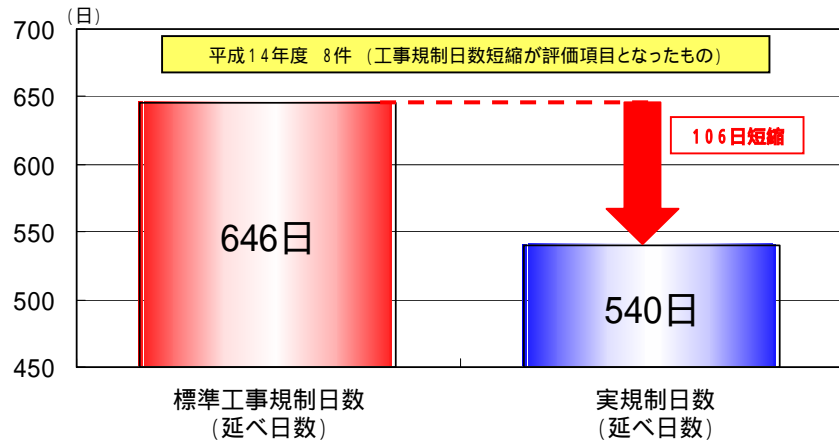
(4) 総合評価落札方式により工事規制日数を短縮

工事規制日数の短縮を評価する総合評価落札方式発注により、延べ106日の路上工事日数を短縮。

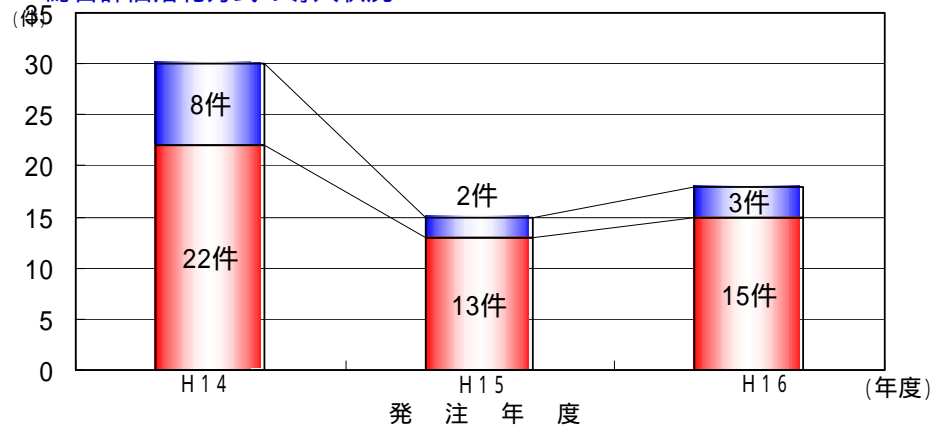
(1) 取り組みの概要

取り組みの概況

総合評価落札方式を採用した工事の標準工事規制日数と実規制日数の比較



総合評価落札方式の導入状況



(2) 総合評価落札方式の導入事例(青山地区電線共同溝その4工事)

取り組みの概況

一般国道116号の新潟市青山地内において、歩道内に電線共同溝450mを設置。工事箇所は新潟市街地で、約22,000台/日と交通量が多い現道上の工事。狭隘な歩道内での工事であり施工ヤードに制約を受けるなか、住民、関係者との積極的な連絡調整に努めた。

業者からの提案内容

国から示した前提条件(標準案)

- ・1日あたりの工事延長……11m
- ・工事規制日数……450m ÷ 11m 41日

業者からの提案内容

掘削時の土留工法を通常(シートパイル工法)から「たて込み簡易土留工法」を採用。管路材料を5mと2mのセットで用意し、施工の効率化を図る

1日あたりの工事延長が14日にアップ…工事規制日数33日を提案

取り組みの推移

本工事の標準規制日数 41日

業者の提案日数 33日

実際の規制日数 19日

工事規制日数を22日削減



青山電線共同溝その4工事 完成写真

業者は実際の施工時、提案以上の規制日数短縮を実現
(マネジメントが現場まで浸透し取り組みが促進)
今後はマネジメントの浸透を促進するため、総合評価落札方式による発注の一層の推進を図る

(5) 路上工事縮減専門部会を設置し、不満の多い幹線道路の路上工事の削減 [九州地方整備局]

九州幹線道路協議会に路上工事縮減に向けた専門部会を設置。
平成16年度、直轄国道において、年末年始の路上工事時間を前年比で1/3を削減。

縮減に向けた具体的取り組み

「九州の道路に関するアンケート」(H16.10)によると、路上工事に関連が深いテーマについて不満が多い

- ・車を利用する立場からの満足度 満足22.9%、不満48.4%
- 不満の理由(重複回答) 1位:「交通渋滞」53.0%
- 4位:「路上工事が多い」30.0%

九州幹線道路協議会に路上工事縮減専門部会を設置し、県と一体的に取り組む

- ・H16.12.21 路上工事縮減専門部会を設置
- 専門部会メンバー 部会長:九州地方整備局 道路部長
委員:道路部関係課長 道路関係事務所技術副所長
各県(関係課長) 政令市(関係部長)
- ・H17.1より勉強会を開催
- 道路協会と協働により、施工業者を含めて具体的対策を検討

アクションプランを策定(H17.5策定予定)

対応すべき課題

- ・道路管理者の意識改革
- ・路上工事の工期設定の変更
- ・現道規制期間(路上工事)の短縮
- ・近接工事間の調整
- ・路上工事規制情報について、広報の強化

年度末の路上工事削減

H17.3の路上工事時間をH16.3の1/3を削減
[40,000時間(H15) 27,000時間(H16)]

新聞記事
“道路工事の渋滞緩和へ
「年度年末集中」「掘り返し」改善“

著作権の関係で掲載できません

今までの直轄国道での取り組み

年末年始の路上工事の抑制

抑制期間 - H16.12.17 ~ H17.1.6 -

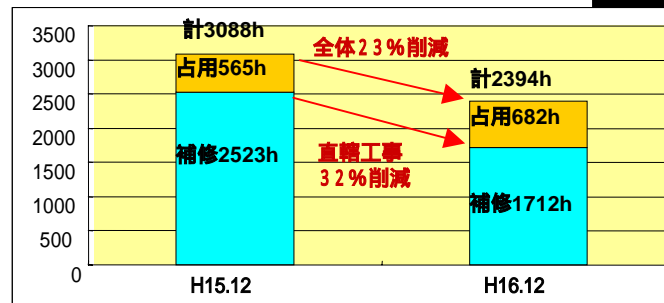
新聞記事
“年末の道路工事中止が遅れる工事箇所名(福岡国道事務所管内の都市圏関係分“

新聞記事

“渋滞緩和へ粋な配慮
年末年始 工事しません 国道400件“

著作権の関係で掲載できません

著作権の関係で掲載できません



(6) 道路工事モニターとの協働により工事広報を改善

【中部地方整備局名古屋国道事務所・名古屋市】

道路工事モニター - (公募)との協働により、路上工事の広報手法を改善して道路利用者の不満を軽減。

道路工事モニターと協働して広報手法を改善

1. 道路工事モニター -
名古屋市内で30名を公募(公募主体:名古屋市道路占用調整協議会)
2. 平成16年度の活動
道路利用者や沿道住民の不満を少しでも軽減できる広報のあり方を、ワークショップ形式で検討
ホームページの改善、 工事看板(現場)の改善、 広域広報の改善
3. 平成17年度以降の対応
・平成16年度の成果を名古屋市内で試行。
・モニター制度を継続(新たに公募する予定)

道路工事モニターによるワークショップ

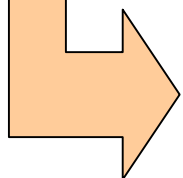


例1:ホームページの改善

【モニターの意見】

- ・現在のホームページ(名古屋市、中部地整)は、各組織のホームページの中にあるものの、専門用語も多く、親しみが持てない。
- ・工事情報の提供方法(特に地図ベース)も素人には判らない。
- ・判りやすい「専用ホームページ」を設けるべき。

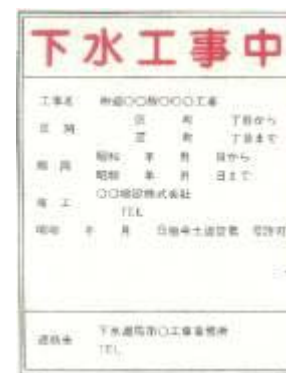
平成17年度
専用HP設置
予定



例2:工事看板(現場)の改善

【モニターの意見】

- ・現在の工事看板(図1)は、工事主体が変わって連続して工事する場合でも、工事主体毎に設置される。
(終わったと思ったら、すぐに次の工事看板が設置される)
- ・そのため、繰り返し工事をしているように捉えられる。
- ・あらかじめ判っているなら、全体の工事が何時まで続くのかを当初から明示しておくべき。



全体の工程
が判る看板
を追加

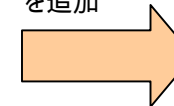


図1

(7) **新工法の採用**による路上工事の縮減

【名古屋市・NTT西日本名古屋支店・NTTインフラネット東海支店】

NTT管路敷設工事で**新工法**を用い、**路上工事時間を短縮**。
新工法をNTT関連会社等に紹介、取組が広がるように働きかけ。

NTT管路敷設工事において、規定の土被りが確保できない箇所において、管路防護工に**新工法**(管路防護台)を**試行採用**
これまで:防護コンクリート(現場打ち)
試行:管路防護台(プレキャスト)

日当たり施工量が**約27%改善**

試行箇所(延長79.1m、うち管路防護区間54m)において、新工法を用いたことにより、全施工日数が、これまでの4.5日から3.5日へと**路上工事時間を約1日短縮**。
日当たり施工量は11.9m/日から15.1m/日へと**約27%改善**。

新工法をNTT関連会社等に紹介

新工法採用対象箇所は、中部地整管内のみでは一部に限定。このため、NTT関連会社等に紹介、取組が広がるように働きかけ。

作業手順(土留め、埋め戻し)

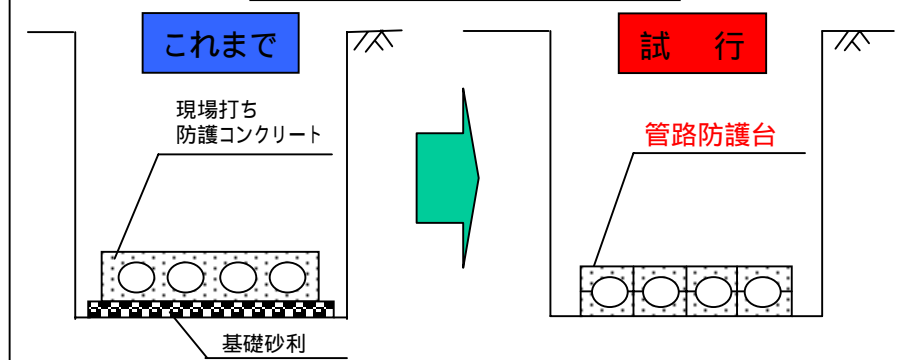
防護コンクリート(現場打ち)

- 土留め
- 基礎砂利突き固め
- 管路敷設
- 型枠組み立て
- コンクリート打設
- 養生
- 型枠撤去
- 埋め戻し

管路防護台

- 土留め
- ↓
- 管路防護台設置(下)
- 管路敷設
- 管路防護台設置(上)
- ↓
- 埋め戻し

管路防護台のイメージ図



管路防護台の施工写真



管路防護台(材料)



管路防護台設置状況

本工法の採用による工期短縮以外の効用
材料が産廃として処理されるケーブルのリサイクル品である。
移設が必要な場合にも再利用が可能。